

4年間の学び

1年次		2年次		3年次		4年次	
1 Semester	2 Semester	3 Semester	4 Semester	5 Semester	6 Semester	7 Semester	8 Semester
<p>「国語力」が向上する科目</p> <p>日本語の運用能力(国語力)や日本学科で学ぶ領域の基礎をつくる</p> <ul style="list-style-type: none"> ●日本語表現演習 ●大学基礎演習 ●パフォーマンス実践演習 など 		<p>「学ぶ力」を養う</p> <p>3コースを横断して自由に学ぶ。</p> 		<p>知識を深め、専門性を高める</p> <p>興味・関心に応じてゼミで学ぶ。</p> 		<p>卒業研究にまとめる</p> 	
<p>日本語・日本文学コース</p> <p>日本語学や古典・近現代文学を学び、国語教員などをめざすために必要な素養・知識を修得する。</p>		<ul style="list-style-type: none"> ●日本語学 ●日本文学史 ●日本語教育学概論 		<ul style="list-style-type: none"> ●日本語教授法 ●日本語と日本文化 ●漢文学 		<ul style="list-style-type: none"> ●比較文学論 ●書論・鑑賞I・II など 	
<p>文化・歴史・観光コース</p> <p>伝統文化・芸能や日本史、観光学など幅広い科目から自由に学び、公務員や観光産業などをめざす。</p>		<ul style="list-style-type: none"> ●日本文化論 ●書道A~D ●伝統文化研究 		<ul style="list-style-type: none"> ●観光文化地理 ●ツーリズム論 ●日本の世界遺産 		<ul style="list-style-type: none"> ●日本思想研究 ●日本文化史 など 	
<p>現代文化コース</p> <p>現代日本の文化の観察・分析を通して、日本の今を学ぶ。マスコミ・広告業界などをめざす。</p>		<ul style="list-style-type: none"> ●情報文化論 ●サブカルチャー論 ●現代メディア論 		<ul style="list-style-type: none"> ●映像文化論 ●現代メディア論 ●音楽文化論 		<ul style="list-style-type: none"> ●創作論 ●日本のアニメーション など 	
<p>就職活動対策 キャリア教育関連科目</p>		<p>卒業後の社会生活を視野に入れて、キャリア意識を高め、社会人に必要な知識・技能を段階的に身につけます。</p>		<ul style="list-style-type: none"> ●キャリアデザインニング ●キャリアマネジメント ●キャリアゼミ ●地域連携インターンシップ ●各種筆記試験対策など 			
<p>学科独自の教職支援</p>		<p>教員をめざす学生のために、教職教育推進センターによる支援に加え、学科による対策講座や相談、面接指導も行っています。</p>		<ul style="list-style-type: none"> ●教科教育法(国語/書道)I~III ●国語教育論A・B ●国語教材研究論I~III 			

日本をさまざまな観点から学ぶ。

卒業研究

私の4年間の歩み



河合 梓さん
人文社会学部 日本学科 4年生
大阪府立和泉高等学校 出身

1年次

教師をめざして学びはじめた1年次、古典の面白さに気づき、さらに国語が好きになりました。

国語の先生をめざしていた私にはどの学びも魅力的なものばかりでした。「日本語表現演習I・II」で日本語表現、コミュニケーションの基礎力がしっかりと身につきました。また、日本語学や日本文学、古典、日本の歴史や、日本文化などの基本的な知識を幅広く学ぶことができました。

2年次

ただ国語を学ぶのではなく日本語の背景にある歴史や文化を学びました。

「日本学基礎演習I・II」を通じて日本学科生としての学修の在り方を学ぶと同時に、ゼミにつながる専門的な授業も受けて、専門領域のイメージができました。書道をはじめとする日本文化を実践的に学ぶ科目や日本語関係の授業で、日本語の奥深さに触れることができました。

3年次

ゼミでの学修がはじまり、一つのことを深く探求することができました。

3年生になると「専門演習I・II」(ゼミ)や「特殊講義」などを履修することで、自分の専門性を高めていきます。私の場合は、古典文学ゼミで「枕草子」について研究していました。また、教材研究や模擬授業など教員養成の本格的な授業もはじまり、教育実習に行くための心構えを身につけることができました。

4年次

4年間の総仕上げとしてゼミでの研究を卒業研究にまとめ、卒業後の進路に向けて自分自身を磨いていきます。

専門の学びをより深めて、その成果を卒業研究としてまとめます。私は資料や文献を基に「枕草子」の作者である清少納言の人間性を調べ、レポートにまとめて提出しました。また、就職活動も本格的にはじまり、卒業後の進路に活かせる専門知識を身につけたり、必要な資格を取得したりします。



カリキュラム 学芸員をめざして



学芸員とは、博物館などで資料の収集、保管、展示及び調査研究や教育普及活動などに関連する職務を担当します。四天王寺大学では図書館に保管されている歴史的に貴重な手稿本や写本を実際に用いて、資料の取り扱い方、調査、保存方法などを体験し、学芸員としての資質を磨きます。